

IT業界における コミュニティの 重要性と関わり方

法林浩之

hourin@suplex.gr.jp



法林 浩之

@hourin

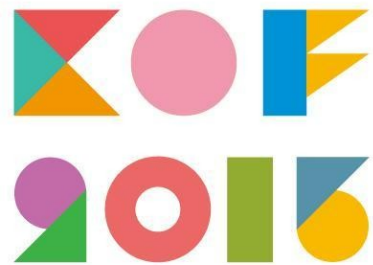
フリーランスエンジニア
日本UNIXユーザ会(jus)幹事

主に東京で活動するが全国に出没

1966年生まれ(50才)

詳しくは「**法林浩之**」で検索
もしくはWikipediaを参照

コミュニティ/イベント運営

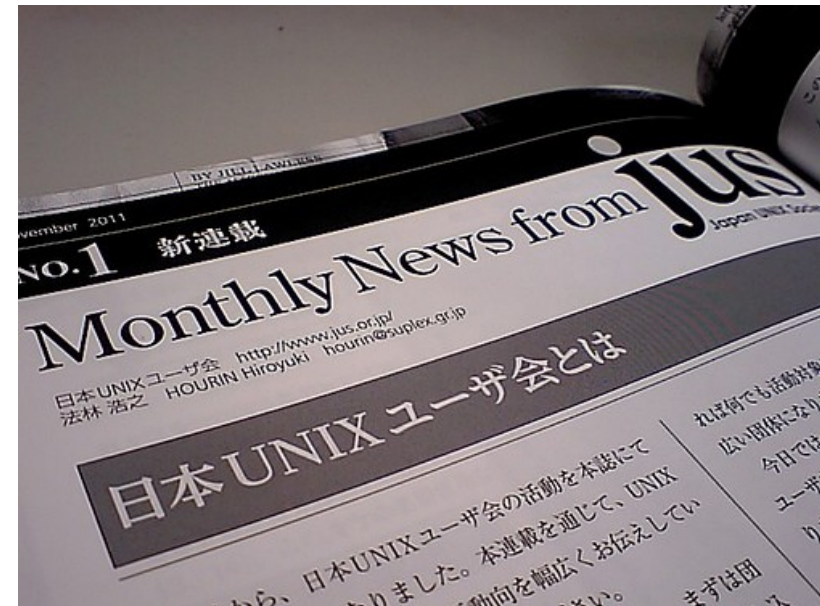
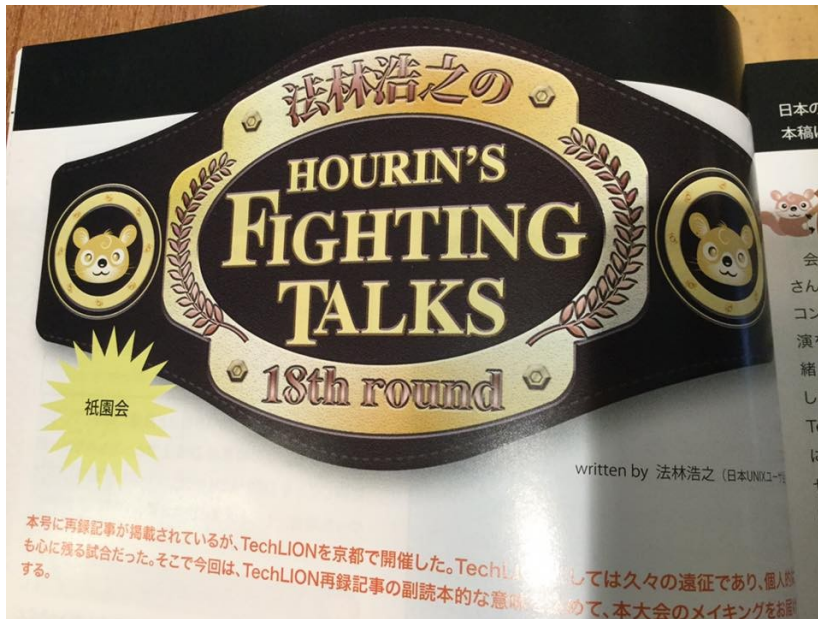


Kansai Open Forum



大半は
ボランティア

連載記事



シェルスクリプト
マガジン

Software Design



1 0 4 0

個人事業の開廃業等届出書

目黒 税務署長

2008 年 1 月 17 日提出

納税地	住所地・居所地・事業所等(該当するものを○で囲んでください。) (TEL. - - -)		
上記以外の 住所地・ 事業所等	納税地以外に住所地・事業所等がある場合は書いてください。 (TEL. - - -)		
フリガナ 氏名	ホウリン ヒロ 2キ 法林 浩之	生年月日	大正 4/年7月5日生 平成
職 業	開 5 男	フリガナ 屋 号	2-7*レ-72 ジュ-ピ- suplex.jp

個人事業の開廃業等について次のとおり届けます。

(事業の引継ぎを受けた場合は、受けた先の住所・氏名を書いてください。)

住所 _____ 氏名 _____

届出の区分 事務所・事業所の(新設・増設・移転・廃止)

会社員15年 個人事業主8年

IT業界と コミュニティ活動

コミュニティの
概要/現状/私的関わり

コミュニティ活動の
利点/注意点/参加方法

コミュニティ運営について
思うこと

企業から見たコミュニティ

これからのコミュニティ

コミュニティの 概要/現状/私的関わり

コミュニティ活動の
利点/注意点/参加方法

コミュニティ運営について
思うこと

企業から見たコミュニティ

これからのコミュニティ

広義のコミュニティ

英語では”community”

集団/共同体 などの意

ITに限らない

学級/部活/町内会など

狭義の(IT業界の) コミュニティ

IT関係で特定の技術テーマや
地域などをキーワードに集まる
同好者のグループ

ITコミュニティの起源

詳細は不明だが
コンピュータメーカー主導の
ユーザ会は30年以上前から
存在したらしい

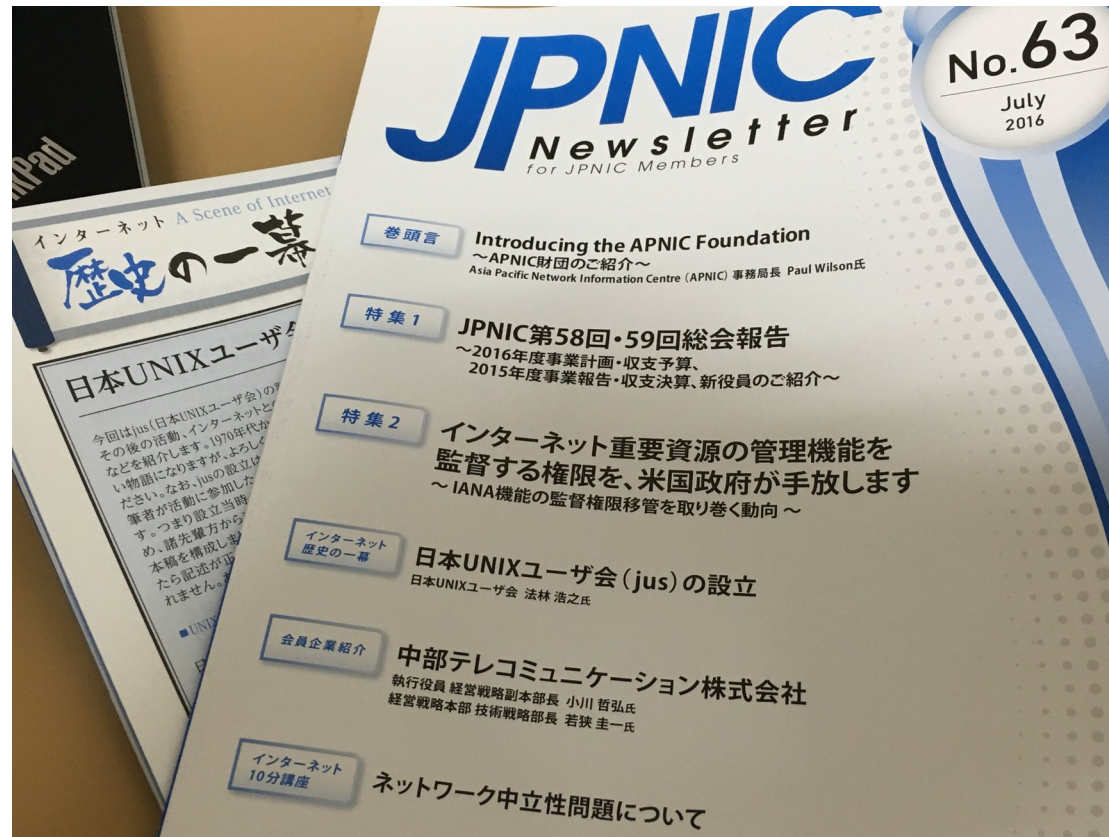


日本UNIXユーザ会 1983年設立

jusは日本のUNIXおよび
オープンシステムに関する
ユーザグループの草分け的存在であり、
UNIXユーザを中心とする会員が
さまざまな活動を行なっています。

UNIX技術は、ユーザ主導の
議論によって開発されています。
ユーザの集まりであるjusの活動は、
このようなUNIXの発展形態にも
大きく貢献しています。

<https://www.jus.or.jp/aboutjus.html>



JPNICニュースレター 「インターネット歴史の一幕」に 「日本UNIXユーザ会(jus)の設立」 という題で寄稿

日本における UNIXコミュニティの形成

石田晴久先生により
日本にUNIX伝来(1976年)

関係者を巻き込んで勉強会を開催
(コミュニティ形成)

DECUS(DECのユーザ会)に
UNIX部会が作られる

日本における UNIXコミュニティの形成(続)

1980年代に入ると多くのメーカーから
UNIXマシンが発売される

DECUSから独立してjus設立(1983年)
UNIXの開発と普及に尽力

1990年代以降のインターネットや
オープンソースの発展につながる

現代的な

ITコミュニティの

発達は

ここ10年ぐらい

インターネットの普及(1995-)

遠隔での共同作業が容易に

オープンソースの普及(2000-)

共同開発の考え方が広まる

ソーシャルメディアの普及

(2005-)

情報拡散も容易に

余談

1990年代にInfotalkという
メーリングリストがあった

Web黎明期における
情報交換コミュニティ

世界的に見ても日本は ITコミュニティ/勉強会がさかん

The screenshot shows the eventdots.jp calendar for August 2016. The interface includes a search bar, a date selector set to 2016-08, and a navigation menu. The calendar grid displays the number of events for each day: 14th (19), 15th (11), 16th (18), 17th (33), 18th (34), 19th (29), and 20th (108). A red circle highlights the 19th and 20th, with a red arrow pointing to the 20th's event list, which is significantly longer than the other days, illustrating the high density of events on weekends.

14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
19件	11件	18件	33件	34件	29件	108件

<http://eventdots.jp/calendar?ym=2016-08>

週末は特に多い

業種はさまざま

ほぼすべての業種に
コミュニティが存在

職種もさまざま

開発者コミュニティ
一緒に何かを開発する

運用コミュニティ
運用に関する情報交換

ユーザコミュニティ
使い方に関する情報交換

運営形態もさまざま

規模

公開/非公開

有料/無料

業務との関係の有無

重要な共通点
「自主的にやっている」

立ち上げ/体制作り/
イベントなど

私と

コミュニティ

すみません
長いです

25年ぐらい
あります



大阪大学 基礎工学部 情報工学科
(現:情報科学科)にて
UNIXとインターネットに出会う
(1988年)

まだインターネットでなく**JUNET**

JUNETにつながっている
組織は少数(当時で約200)

UNIXが使える学科も少数

Webはまだ発明されていない



ネットニュースの常連投稿者になる
自身初のソーシャルメディア利用(?)



UNIX Fairのスタッフを務める(1989-1991)
jusの活動に参加
(自身初のコミュニティ参加)

就職で東京へ行くと
同時にjus幹事に(1992-)

自身初のITコミュニティ運営

先輩幹事たちと一緒に
勉強会や展示会などを運営

オープンソースまつり (1999-2001)



日本のオープンソースコミュニティが
一堂に会した最初の展示会



展示会場内の特設ステージを運営

これを契機に
多くのITコミュニティとの
交流が生まれ
多数のイベントを運営

Internet Week (1997-)



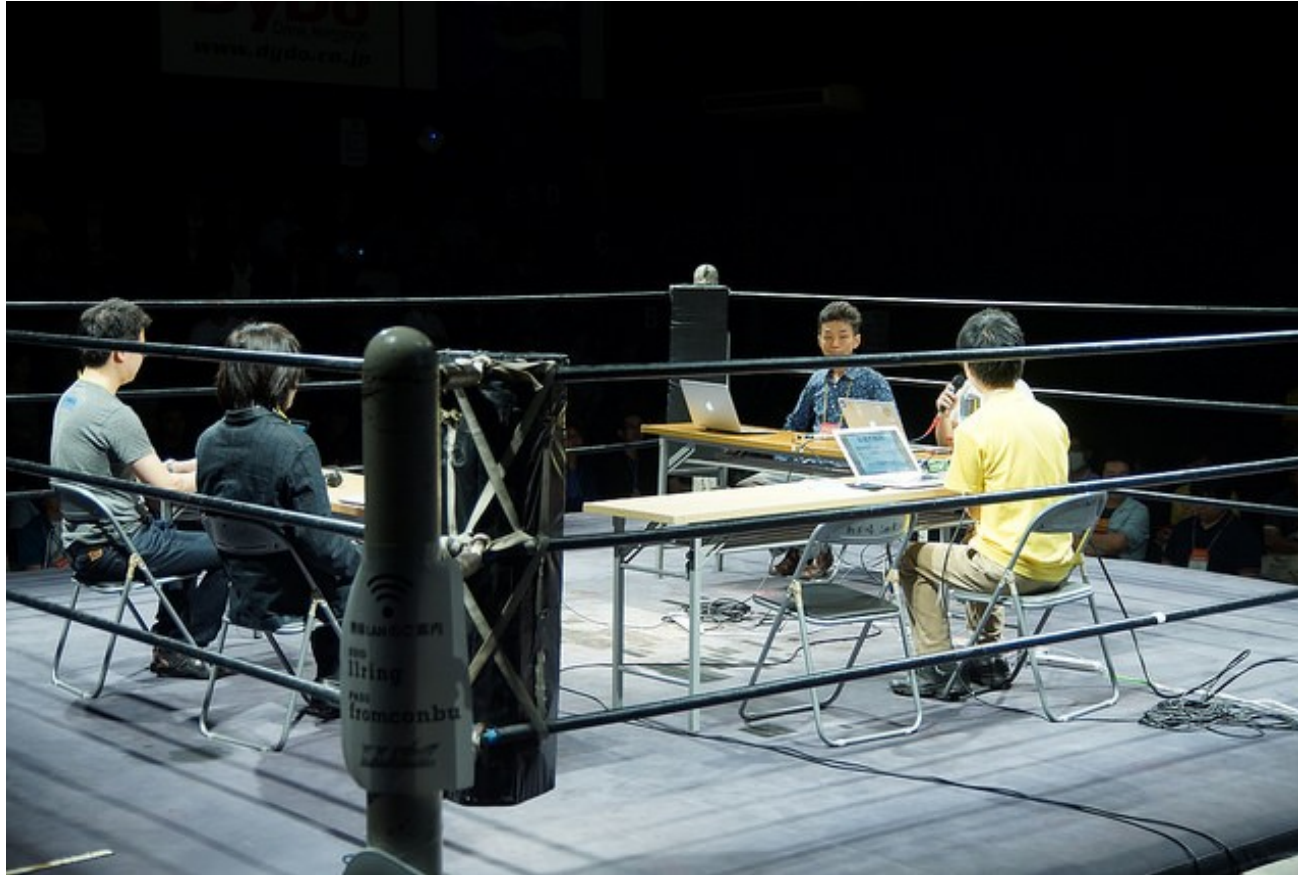
インターネットの管理・運用系
コミュニティを集めたカンファレンス

関西オープンフォーラム(2002-)



関西のコミュニティ/企業による展示会
大阪南港ATCにて開催
旧名称は「関西コミュニティ大決戦」

Lightweight Languageイベント (2003-)



プログラミング言語コミュニティとの
合同イベント

jus研究会 JAPAN TOUR (2007-)



オープンソースカンファレンスなどの
場を借りて全国各地の
コミュニティの人に講演してもらう

TechLION (2011-)



ライブハウスで飲みながら聞いてもらう
ITエンジニア向けトークライブ



日本OSS
貢献者賞(2012)



楽天テクノロジー
アワード(2013)

最近は
コミュニティ運営を
テーマとする
イベント/勉強会も開催

ITコミュニティの運営を考える



jus研究会の枠などを利用して
全国各地のコミュニティ運営者と対談
昨夏からシリーズで開催中

仕事の方は
新卒から10年後に
初めての**転職** (2002)

コミュニティ活動で培った
人脈を頼って就職

さらに6年後に**独立**して
個人事業主に
(2008-)

コミュニティ人脈から
仕事をもらって
事業を継続

最近ついに
コミュニティの
相手をする

仕事^がやってきた

さくらインターネット



2015年5月から常駐
役職: コミュニティマネージャー
コミュニティ支援やイベントを担当

振り返ると
コミュニティとの関わりが
人生を変えたと
言っ
てよい

コミュニティの
概要/現状/私的関わり

**コミュニティ活動の
利点/注意点/参加方法**

コミュニティ運営について
思うこと

企業から見たコミュニティ

これからのコミュニティ

コミュニティ活動は
有意義な点が多い

自分の技量の向上

授業や仕事では
教わらないことを勉強できる

社会人もコミュニティで
勉強したことを
仕事に役立てている

技術動向がわかる

コミュニティの活動状況は
その技術に**関心を持つ人が**
多いかどうかに比例する

盛り上がっているコミュニティを
チェックしておくとい

人脈ができる

学外/社外に
ITの話がわかる友達ができる
わからないことの相談ができる

新たな仕事に
つながることもある

就職/転職に役立つ

コミュニティの知人に誘われて
就職/転職するケースが多い

求人媒体経由での採用に比べて
技量や人柄がわかっているのもので
評価しやすい

プロジェクトの 動かし方がわかる

コミュニティやイベントの運営は
プロジェクト管理そのもの

管理職になったときに
たぶん役に立つ

コミュニティ活動の
意義を総合すると…

外の物差しを知る

そうすることで自分を
客観的に評価できる

コミュニティ活動に 関わる際の**注意点**

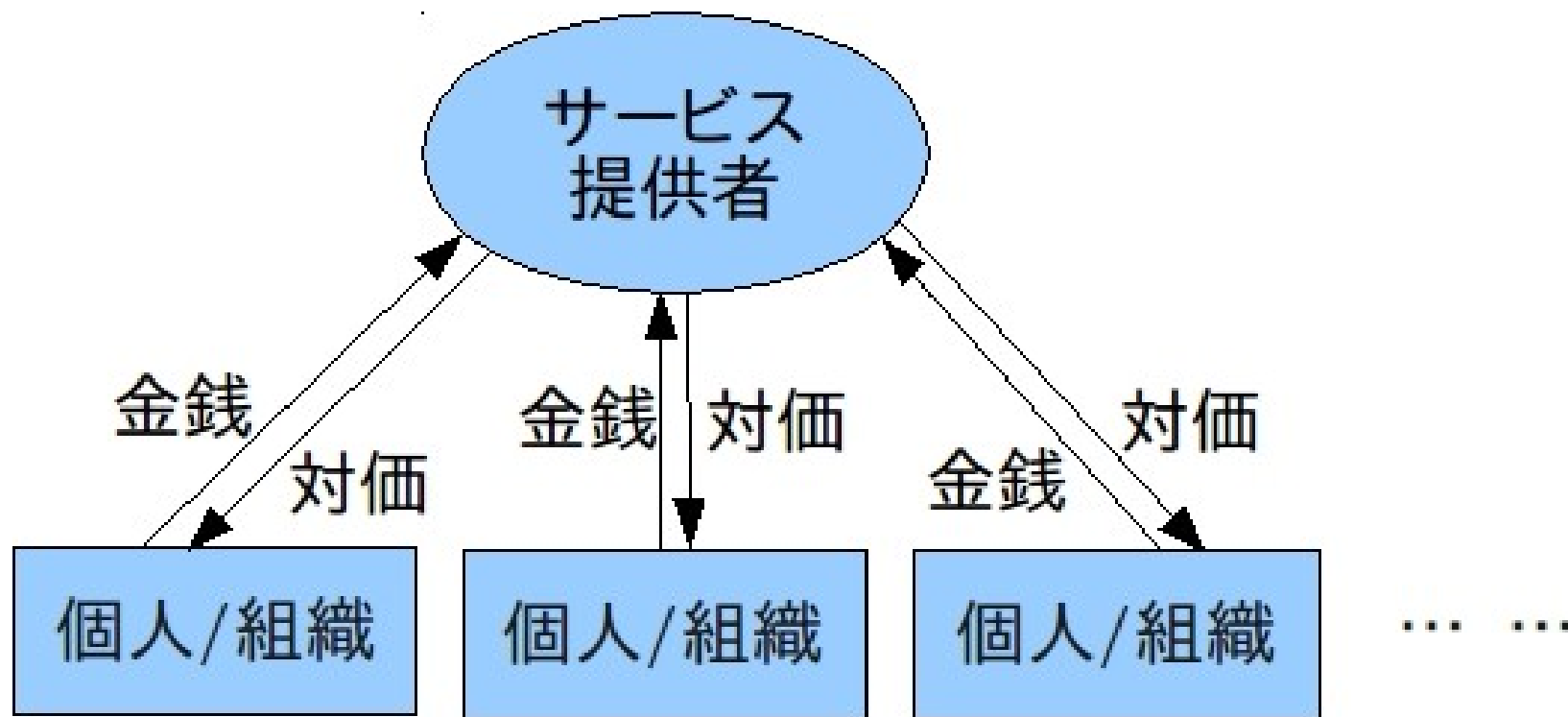
貢献する気持ちを持って
参加しよう

実際に貢献できるかどうかは別

やれることがあれば
貢献するぐらいでよい

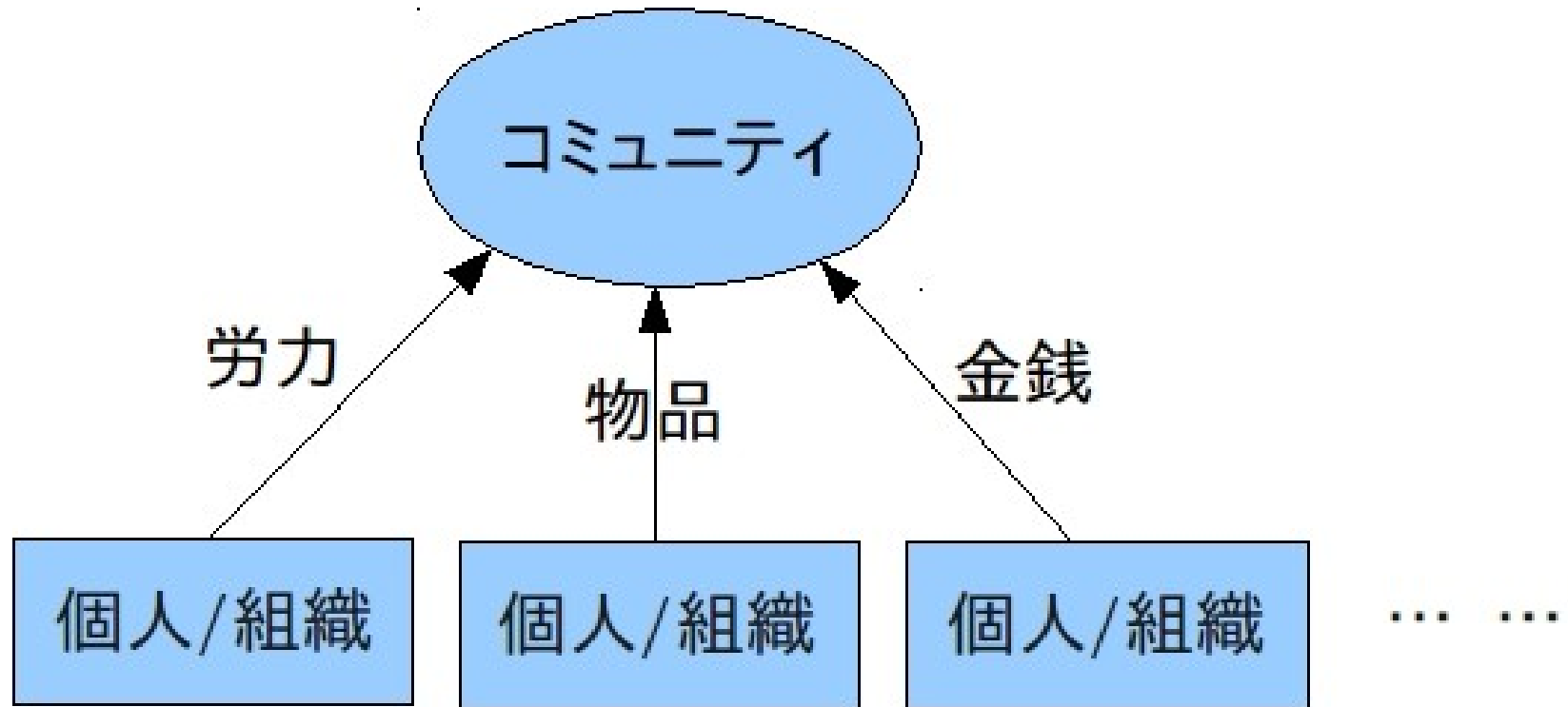
コミュニティ活動は
サービスではない

企業のサービスを支える構図



客が金を払って
対価(サービスなど)を受ける

コミュニティを支える構図



各自が人/モノ/金を持ち寄って運営
提供者に対価を払うことを目的としない

技術力はなくても
コミュニティへの
貢献はできる

技術力と貢献力(?)は
無関係

IT以外の経験や
趣味の知識/技能も役立つ
自分にできる貢献を考えて
実践してほしい

コミュニティ活動に

理解のある

会社に行こう

コミュニティ活動に
理解のある職場と
そうでない職場がある

そもそもコミュニティの
存在を知らない

コミュニティに優秀な
人材が多いことを知らない

社外への人材流出を恐れて
勉強会への参加を
禁止する企業もあるらしい(?)



自分は新卒で就職するときに
ネットニュースに投稿できる会社
という条件で探した

今だったら…

コミュニティ活動を
している人が多い会社

経営者がコミュニティ活動に
参加している会社

コミュニティへの 参加方法

百聞は一見に如かず

自分で勉強会カレンダーなどを見て
興味のあるものに参加してみる

小規模だと緊張するなら
大規模なものを選ぶ

仲間がいれば一緒に参加してみる
あるいは連れて行ってもらう

おすすめは 懇親会への参加

何人か知り合いができるはず
特に主催者と知り合いになるとよい
そこから他のコミュニティの情報を得たり
運営を手伝ったりするうちに
コミュニティ活動の世界に

固定した名前^①で活動

実名か覚えてもらいやすい
ニックネームで

自分の活動実績を残すには
名前が必要

就職や転職時も名前が必要

ソーシャルメディアを使う

自分の好きなメディアでよい

IDはできれば固定

自分の活動を発信する

(他人のではなく自分の)

(評論ではなく活動を)

〇〇コミュニティの△△さん
と言ってもらえるように
なったら一人前

そうならば
会社/学校に関係なく
価値のある人間になれる

コミュニティの
概要/現状/私的関わり

コミュニティ活動の
利点/注意点/参加方法

**コミュニティ運営について
思うこと**

企業から見たコミュニティ

これからのコミュニティ

ITコミュニティの運営を考える



jus研究会の枠などを利用して
全国各地のコミュニティ運営者と対談
昨夏からシリーズで開催中

これまでの開催記録と
セッションでの議論から
浮かび上がることを紹介

試合の趣旨

ITコミュニティは増えた

運営者も増えた

でも**運営者同士の交流**の場は
あまり増えていない

だったらjusでやってみよう

登壇者

レギュラー

榎真治(日本UNIXユーザ会/
LibreOffice日本語チーム)

法林浩之(日本UNIXユーザ会)

ゲスト

コミュニティ運営者
IT関係であれば分野は不問

試合形式

登壇者からお題を出してもらおう
運営上の悩み
他のコミュニティへの質問など

お題に対して
登壇者同士で議論

例：OSCで開催する場合

ゲストは開催地域の
コミュニティ運営者に依頼
通常2名

4人でお題を1個ずつ
出し合って議論すると
持ち時間(45分)を消化

開催実績

- 2015/07 jus総会併設勉強会
- 2015/10 jus研究会@OSC福岡
- 2015/11 jus研究会@OSC徳島
- 2015/11 Internet Week BoF
- 2016/05 jus研究会@OSC名古屋
- 2016/06 jus研究会@OSC北海道
- 2016/07 jus研究会@OSC沖縄
- 2016/07 jus研究会@OSC京都
- (以下予定)
- 2016/10 jus研究会@OSC長岡
- 2016/11 jus研究会@KOF

出場コミュニティ

ソフトウェア系

tokushima.app, tokushima.rb,
GDG京都, LibreOffice日本語チーム,
DevLOVE, 名古屋アジャイル勉強会,
TEF道, NDS, baserCMSユーザー会

サービス系

JAWS-UG, JAWS-UG沖縄

出場コミュニティ(続)

ハードウェア系

日本ラズベリーパイユーザグループ

ネットワーク系

JANOG, QUNOG, ENOG, NSC運営事務局,
ISOC-JP, JPOPM

イベント系/何でもあり

名古屋ギークバー, ハッカーズチャンプルー,
LOCAL, 日本UNIXユーザ会

どんなお題が
出てきたか

存在を知ってもらうには
特に大都市圏では
地元の人にも伝わっていない

仲間を増やすには
特に若手/学生の参加
新人の定着など

長く続けるには

定期開催のコツ

マンネリ防止策

対象領域を絞った
コミュニティは話題が
マンネリ化しやすいらしい

メンバー固定化の弊害

メンバーが固定化されると
新人が入りにくくなる
あるいは入っても定着しない

コミュニティの高齢化問題
にもつながる

運営方針

団体のミッションの設定
会則は必要か
方向性の転換

運営の実務

スタッフミーティング(特に遠隔)
成果物の記録や保存
運営していると勉強できない

金の扱い

活動に対して金を払うか
払う場合のルール

人の扱い

問題のある人をどうするか
運営向きの人とそうでない人

地域に関すること

東京と地元との対比

地元を盛り上げるには

世界のコミュニティとの
つながりをどう持つか

企業との関係

ベンダーとコミュニティの
適切な関係

コミュニティを利用しようとする
企業をどうするか

セッションを
実施して
思ったこと

目標はそれぞれだが
共通の悩みはあるらしい

存在が認知されない
継続するのが大変
メンバーの固定化/高齢化

運営手法は多種多様だが
ノウハウは共有されていない

共有する場がない

ノウハウの価値が未知数

技術情報と違って
ポリシーによる部分が多く
正解/不正解で論じにくい

企画側としては
いろんなコミュニティと
対戦することで
運営ノウハウの
引き出しが増えた

もっと試合したい！

未対戦の分野も多いし
もっといろんなイベントで
この試合をやりたいが
できる場が少ないのが悩み

試合できそうなイベントが
あったらご紹介ください

コミュニティの
概要/現状/私的関わり

コミュニティ活動の
利点/注意点/参加方法

コミュニティ運営について
思うこと

企業から見たコミュニティ

これからのコミュニティ

さくらインターネット



2015年5月から常駐
役職: コミュニティマネージャー
コミュニティ支援やイベントを担当

企業とコミュニティの接点

自社製品のユーザ
コミュニティを運営する

コミュニティが主催する
イベントに協賛/出展/講演
などに関わる

自社製品のコミュニティ

企業がコミュニティを作って
製品/サービスを広める
手法が注目されている

手法自体は古くから存在
遅くとも1970年代から



<http://jawsdays2016.jaws-ug.jp/>

最近の顕著な成功事例は
JAWS-UG

企業がコミュニティを運営する利点



小島英揮さん(AWSJ)の講演資料より

<http://logmi.jp/21744>

コミュニティが宣伝してくれる
SNSの普及で拡散が容易になった

他社でも同様の試み

GCPUG

kintone Café

TwilioJP-UG

Japan Azure User Group

日本SoftLayerユーザー会

など



さくらインターネットの
ユーザコミュニティ

2015年6月から活動開始

全国のユーザを
巻き込みながら活動中

<https://saku-love.doorkeeper.jp/>

個人的な所感

そんなに簡単に
JAWS-UGのようには
いかないだろうと思っているが
まずはやってみよう

コミュニティが形成 されるには動機が必要

ユーザが少ない→情報交換の場が欲しい
情報源が英語→日本語で話せる場が欲しい

情報が大量にリリースされる
→整理された情報が欲しい

独自の製品/仕様が多い
→一緒に勉強する場が欲しい

よくわからんけど面白そう
→一緒に面白がる場/人が欲しい

さくらの場合

すでにユーザがある程度多い
検索すると情報がたくさん出てくる

情報はすべて日本語

独自の製品/仕様が少ない
(普通のサーバの使い方と変わらない)

→集まる動機に乏しい

そこで…

対象をさくらの
サービスに限定しない
OSSの使い方などの勉強会も実施

他のコミュニティの
イベントに便乗
イベント名に **#さくらクラブ** を付記

日付	場所	タイトル
6/26	鹿児島	Startuphack in Kagoshima
8/21	福岡	「デザイン&システム会社 LT交流会 in Fusic」with #さくらクラブ
8/24	名古屋	名古屋ギークバー by さくらクラブ
9/27	大阪	さくらクラブ大阪 さくらのVPSを構築しよう。サーバー初心者勉強会
10/31	愛媛	さくらクラブ愛媛 第1回勉強会 初心者向けハンズオン with TwilioJP-UG
11/19	ニコ生	さく生 Vol.1「IoT仕掛け人 小笠原さんに聞く未来をmakeする方法」
12/4	ニコ生	さく生 Vol.2「さくら田中さん、AWS小島さんとコミュニティを語ろう」
12/5	名古屋	「EC-CUBE名古屋ユーザーグループ×さくらクラブ」コラボ勉強会
12/16	大阪	Linux初心者もくもく会の日 in JUSO Coworking #さくらクラブ

これまでの主な活動(2015年)

日付	場所	タイトル
1/14	大阪	「TechLION vol.24 ～EC・決済最新動向～」パブリックビューイング@大阪 #TechLION #さくらクラブ #ロックオフ
2/28	大阪	さくらクラブ大阪 レンタルサーバーのWordPressをVPSへ引越してみよう
3/1	東京	さくらクラブ東京 vol.1「クラウド&サーバー勉強会 × Microsoft × G's Academy」
3/2	鹿児島	さくらクラブ 鹿児島 IoTチーム 第1回勉強会「IoTについて語ろう」
3/13	東京	#さくらクラブ G's3rd Webサービス・アプリ用のサーバ・インフラ勉強会
3/19	東京	wp-cli黒い画面も怖くない！さくらのレンタルサーバーで自在にWordPressを操ろう！ - wp-cliでWordPressを簡単構築 - #さくらクラブ
4/10	福岡	さくらクラブビギナーズ@福岡 Python3入門
4/13	東京	さくらクラブU30 若手スタートアップのインフラ変遷

これまでの主な活動(2016年)

日付	場所	タイトル
5/17	鹿児島	さくらクラブ 鹿児島 Arukas勉強会 & 質問会
5/21	東京	【仮想化の鉄人プロデュース 黒い画面も怖くないシリーズ：1】さくらのクラウドを使ってサーバーを立ち上げてみよう！～全国さくら前線ツアー2016 #さくらクラブ～
6/11	沼津	さくらクラブ静岡&WordBenchしずおか&コンフジ！& KUSANAGI静岡ユーザーグループ立ち上げ！Community meetup LT大会～全国さくら前線ツアー2016 #さくらクラブ～
6/12	大阪	さくらクラブ大阪 WordPressのphpを初歩から学ぶ初心者勉強会
6/28	福岡	さくらクラブ福岡主催「Unix考古学の夕べ in 福岡」
7/22	岐阜	さくらクラブ岐阜 第1回LT&交流会～岐阜近郊でWebやってる知り合いを増やそう～
7/23	福岡	やっと開催決定！さくらクラブIoT福岡第1回勉強会～さくらのIoT Platformを体験しよう！～

これまでの主な活動 (2016年つづき)

本質的には
新サービスが続々と出て
それに興味ある人々が
コミュニティに
集まってくるのが理想

さくらの新サービス



NEW さくらのIoT Platform α

すべては、ものづくりの方のために

The banner features a dark blue background with various white icons representing IoT and manufacturing, such as a shopping cart, a graph, a server, a house, and a gear.



ARUKAS CLOUD is DOCKER HOSTING

The banner shows a stylized white sakura logo against a background of blue and purple industrial buildings.



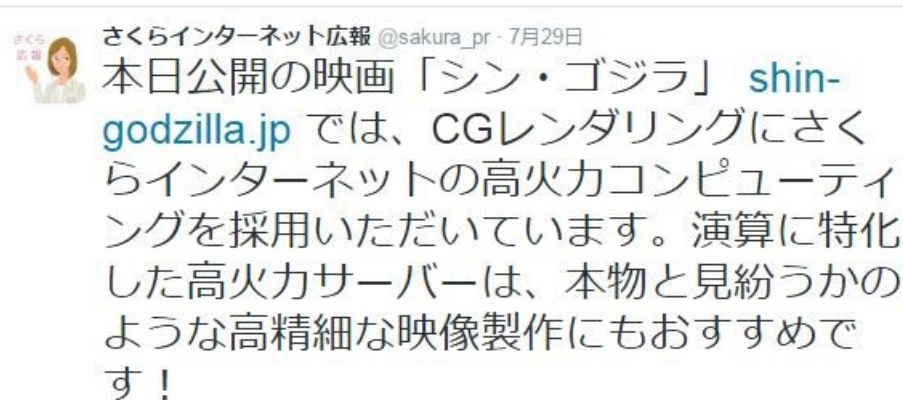
NEW WordPressで簡単に無料利用できる!
Morisawa Web Font

ユニバーサルデザイン SEO

さくらのレンタルサーバ × TypeSquare

充実の 30 書体

The banner includes a grid of font samples with names like 'はるひ学園', 'UD 新ゴ M', '新ゴ R', 'ミヨアレクター', 'すずおし', '新丸ゴ 空ライ', '見出ゴ MA31', 'じゅん 501', 'A1 明朝', and 'リュウミン M'.



さくらインターネット広報 @sakura_pr · 7月29日

本日公開の映画「シン・ゴジラ」 shin-godzilla.jp では、CGレンダリングにさくらインターネットの高火力コンピューティングを採用いただいています。演算に特化した高火力サーバーは、本物と見紛うかのような高精細な映像製作にもおすすめです！

The post includes a small profile picture of a woman and a blue retweet icon.

集まる動機になることを期待

コミュニティが主催する イベントに関わる

協賛/出展/登壇など

さくらインターネットにおける
最近1年間の実績:約70件

登壇

コミュニティの人達は
宣伝を嫌う傾向が強い
(宣伝禁止のコミュニティもある)

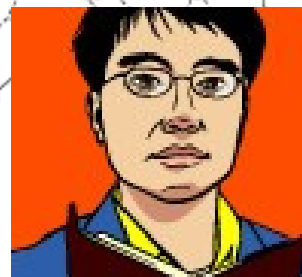
製品/サービスの紹介よりも
それを支える技術を中心に
話した方が喜ばれる

エバンジェリスト

自社の技術やサービスを
ユーザやコミュニティに
広報する職種

技術に詳しいだけでなく
わかりやすく説明する
能力が必要

さくらインターネット エバンジェリストチーム



<http://www.start-point.net/maps/material/>

さくらのサービスは 意外に広範囲

レンタルサーバ、VPS、クラウド、
専用サーバ、ハウジング
その他(SSL/ドメインなど)
さらに新サービスが続々と...

全部頭に入れるのは大変
さらに他社動向も知る必要あり

出展

ビジネス系の展示会とは
様相が大幅に異なる
展示ブースが机1個
個人情報提供を嫌う傾向あり

製品/サービスの売り込みよりも
好感を持ってもらうことが主眼

協賛

通常は金銭で協賛

イベントによって
金額や特典の差が激しい

よくある特典

ロゴの掲載、チラシの配布、展示ブース
セミナー/スポンサーセッション
イベント招待/懇親会招待

協賛(つづき)

機械的な判断基準はない
経験則に基づいて判断
数多く対応する中で
指標らしきものはできつつある
上から降ってくる場合もあり

物品で協賛する

場合もあり

サーバ提供

イベントでの提供が多い
ハッカソンやハンズオンセッションで
使うサーバなど

他にはコミュニティの
Webサイトや作業用サーバなど

問い合わせ先

sakura-club@sakura.ad.jp

コミュニティと企業の
両方を経験して
思うこと

コミュニティ運営者として

企業は金づるではない

企業が協賛してよかったと
思えるようなイベントに
しないといけない
実は協賛を取らない方が
気楽にやれる

企業のコミュニティ マネージャーとして

コミュニティ系イベントは
セールスの場ではない
ファンとの交流イベントぐらいに
思っておいた方がいい

そのコミュニティは有意義な
情報を発信しているか？
発信しているなら何か貢献しよう

コミュニティの
概要/現状/私的関わり

コミュニティ活動の
利点/注意点/参加方法

コミュニティ運営について
思うこと

企業から見たコミュニティ

これからのコミュニティ

未来の予測ではなく
今後どうなるんだらうと
気になっていることを紹介

ソーシャルメディアと コミュニティ

1980年代

インターネット普及以前

コミュニティ参加者の交流手段は
オフラインの集会のみ

1990年代前半

研究用インターネットが普及

メーリングリストや
ネットニュースなど

オンラインの交流が発生

1990年代後半

商用インターネットと
Webが普及

オンラインの交流手段に
Webが加わる
(掲示板/日記など)

2000年代半ば以降

ソーシャルメディアが普及

SNSで交流

現在に至る

ソーシャルメディア以前の コミュニティ

「〇〇ユーザ会」などの
明示的な組織として存在

対外的な窓口が
はっきりしていた

ソーシャルメディア以後の コミュニティ（特に2010年代）

「〇〇ユーザ会」などの
明示的な組織がなくても
コミュニティを形成できる

対外的な窓口が明確でない

ソーシャルメディアの
発達とともに

コミュニティの形成過程が
変わりつつある

イベントの 出席率低下問題 (東京限定?)

参加登録したのに
来ない人が多い

東京では出席率5-6割？

地方では9割ぐらい

仕組みの改革が
必要な気がしているが
妙案はまだない

まとめ

コミュニティの
概要/現状/私的関わり

コミュニティ活動の
利点/注意点/参加方法

コミュニティ運営について
思うこと

企業から見たコミュニティ

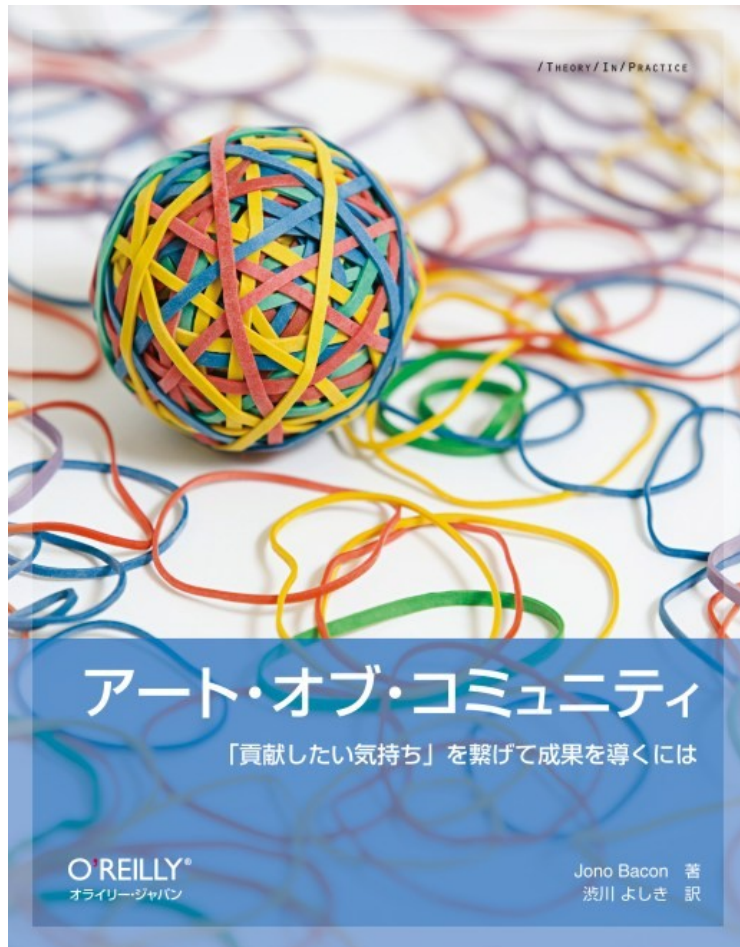
コミュニティの未来

メッセージ

コミュニティ活動の良さを
多くの人に知って欲しい

皆さんの人生を豊かにする
ために役立てて欲しい

アート・オブ・コミュニティ



Jono Bacon 著
渋川 よしき 訳
オライリー・ジャパン

ITコミュニティの運営
について書かれた本

法林浩之の FIGHTING TALKS



ITコミュニティや
イベントの運営
およびトークに
ついて執筆

シェルスクリプト
マガジンにて
連載中

今後の試合予定

8/27 LL of Things

9/1 OSC.Enterprise

9/22 TechLION vol.27@仙台

10/1 jus研究会@OSC長岡

11/11-12 関西オープンフォーラム

11/29-12/2 Internet Week

質疑応答

ありがとうございました



今度はコミュニティ活動の場でお会いしましょう